

平成29年6月18日  
今週のベストショット



青松園B 塩浜ジャガーズ 対 三苦フレンズ戦

15奪三振とエンジン全開で全勝街道を突き進む三苦フレンズ山口和也投手。

写真：三苦ホーネッツ 堺 厳生

### 雁レク軟式7 奈多クラブ投打がかみ合い全勝キープ

新町ウインズ（3勝2敗）001020 3 藤田●-今林

奈多クラブ（5勝）131020 7 今林（瑠）○、安河内

HR：安藤（新町ウ）、住田（奈多ク）3BH：今林（瑠）（奈多ク）

2BH：吉浦、桐島（新町ウ）、今林（祐）盗塁：吉浦、泉（新町ウ）

梅雨に入ったのにカラッと晴れた雁レクにて行われたこの試合、一回裏新町ウインズは三番吉浦選手が相手エラーで出塁し、四番桐島選手は四球で二死一二塁と先制のチャンス。しかし続く藤田選手はライトフライで無得点。対する奈多クラブは一回裏、二死から今林（瑠）選手の当りはレフト前へ。しかしこのところ晴天続きで乾いた地面に落ちた球はバウンドが微妙に変化、左翼手がそらしてしまい今林（瑠）はそのままホームインし1点先制。二回裏、奈多クラブは馬場口選手と安河内選手のヒットで出塁。二死となるも九番住田選手のHRが飛び出し4-0とする。三回表、何とかしたいウインズは二死となるも安藤選手が左中間を抜けるHRで1点を返す。さらに吉浦選手と桐島選手のヒットで二三塁とチャンスを作るが得点できず。ウインズは五回、先頭の泉選手が四球で出塁し、盗塁を決める。二死となるも四番桐島選手は左中間の適時二塁打を放ち1点を返すと、自身も三塁に進塁後、相手のバッテリーミスにより生還。5-3と点差を詰めた。しかしその裏、奈多クラブは先頭の住田選手が死球で出塁すると続く今林（祐）選手は藤田投手の球に食らいつき粘りに粘って最後はセンターへ

二塁打を放ち追加点。相手の返球がボールデッドとなり自身もホームインし7-3と突き放す。そのまま試合は終了し奈多クラブが勝利した。奈多クラブ今林（瑠）投手は中盤からバテ気味と見受けられたが、ウインズ打線を要所で締め、特にピンチの場面で3回対戦したウインズの強打者藤田選手をきっちり押さえた事が勝利につながった。（写真、記事：ソルトベ이스ターズ 田中 裕次郎）



一回表、ウインズ三番吉浦選手のサードゴロが・・・。



一回表、盗塁を成功させるウインズ吉浦選手。



一回裏、好フィールディングのウインズ藤田投手。



一回裏、ホームインする今林（瑠）選手。



二回裏、タイムリーヒットを放った奈多クラブ安河内選手。



二回裏ホームランの祝福を受ける奈多クラブ住田選手。



三回表、HRを放ちハイタッチのウインズ安藤選手。



ウインズ四番桐島選手の当たりにジャンプも届かず。



三回裏、満面の笑顔でハイタッチ。



五回表、果敢に盗塁を決めるウインズ一番泉選手。



五回表ウインズ桐島選手の二塁打で反撃する



五回裏デッドボールを受ける奈多クラブ住田選手。



五回裏、粘って適時打の奈多クラブ今林（祐）選手。



奈多クラブ今林（瑠）投手、粘りのピッチング

## 青松園B 止められない進撃の赤い友達！

塩浜ジャガーズ（5敗）000001 1 ●立石ー竹尾  
三苦フレンズ（5勝）001103 5 ○山口ー佐藤（由）

3BH：生野（拓）（三苦フ） 盗塁：佐藤（塩浜ジ）

全勝の三苦フレンズがどういう試合をするか興味の湧く試合は、フレンズのエース山口投手が初回から三者連続三振とエンジン全開のスタート。攻撃では三回七番佐藤（由）選手が四球で出塁すると確実に送り、ジャガーズ内野陣の乱れをついて先取点を挙げる。四回裏も先頭生野（拓）選手を塁に置いて四番山口選手が左翼前に痛烈なヒット。石内左翼手が後逸する間に生野（拓）選手が生還して追加点。打った山口選手も長い脚をフル回転で本塁を狙うが好返球によりタッチアウト。さらに六回裏、三番生野（拓）選手の三塁打などで3点を追加。ここまでいい所のないジャガーズも最終回疲れの出始めた山口投手にタイミングが合い始め、フレンズ松尾（J A V A）選手のエラーをきっかけに1点を挙げたが、反撃もここまで。終わってみればエース山口投手が毎回の15奪三振の好投で試合を決めた。しかしながら今からが夏本番。暑さがどう試合に影響するだろうか？

（記事・写真：三苦ホーネッツ 堺 厳生）



フレンズのゆるキャラ松尾（J A V A）選手。



好投をみせたジャガーズの立石投手。



好リードのフレンズ佐藤（由）捕手。



全力疾走！



ファインプレーのジャガーズ田沼選手。



静かに見つめるジャガーズの首脳陣。



反省するフレンズ佐藤親子。



生野（拓）選手の三塁打で松尾（J A V A）選手生還。



カメラに向かって！



痛った！ T～T



佐藤（由）選手の快心の一打！



15奪三振、フレンズのエース山口投手。

## 奈多グラウンド 三球会完封リレーで勝利

ブルーマーリンズ（5敗）0000000 0 林●ー横山（健）  
 三苦三球会 （3勝2敗）141300× 9 吉留○、鮎川ー藤澤  
 盗塁：鮎川（三球会）

三苦三球会・吉留投手、ブルーマーリンズ・林投手の両先発で始まった試合。一回表を三者凡退で抑えた吉留投手に対し、先頭をエラーで出塁させ、二番鮎川選手の内野安打の間に先制を許す嫌な展開の林投手。しかし後続を打ち取り初回を最小失点で切り抜ける。追い付きたいブルーマーリンズだったが二回、三回表と吉留選手の前に三者凡退に抑えられる。すると三球会は二回裏、3連打で満塁のチャンスを作ると押し出し四球と濱口選手、

鮎川選手の連打で4点を挙げ、好投する吉留選手を援護する。追い付きたいブルーマーリンズは四回表、打順よく一番からの攻撃。一番児玉選手が四球で出塁すると二番末松選手がヒットで無死一二塁のチャンス。クリーンナップで点を取りたいところだったが、三番、四番、五番が好投を続ける吉留選手の前に打ち取られ無得点。その裏、四球と連打でチャンスを作りエラーなどで三球会が3点を追加し、五回表から鮎川投手がマウンドに上がる。1安打されるも危ないピッチングで2イニングを無得点に抑え、終わってみれば2安打完封リレーで三球会が勝利。三球会は長打こそ無かったが、連打で得点を積み重ね、守っては吉留投手から鮎川投手への完封リレーで見事な勝利だった。一方ブルーマーリンズはセーフティーバントなどで出塁を試みるも好守に阻まれ得点が出来ず悔しい敗退となった。(記事・写真：奈多フェニックス 能丸 英和)



好投した三球会吉留選手。



一人で投げきったブルーマーリンズ林選手。



見事なフィールディングでアウトにした堺達也三塁手。



満塁のピンチでホームアウトにする末松三塁手。



レフト前ヒットを打つ三球会一番濱口選手。



好リリーフした三球会鮎川投手。

## 青松園A 乱打戦も毎回得点のパイレーツに軍配！

新町パイレーツ（3勝2敗） 1 2 3 3 9 吉田○ー大濱

三友クラブ （1勝4敗） 1 0 2 3 6 足達●ー柿崎

HR：岡山（新町パ） 2BH：長倉、安田（新町パ）

盗塁：長倉、白岩（新町パ） 平田、坂本（歩） 山崎（三友ク）

一回表和白新町パイレーツの攻撃は、制球が定まらない三友クラブ足達投手を攻めて、ノーヒットながら四番安田選手の犠牲フライで1点先取る。その裏三友クラブも四球で出塁した一番平田選手を三塁に置き、四番山崎選手の右翼前適時打で1点返し同点とする。二回表パイレーツは、一死から九番岡山選手のソロ本塁打（なぜかホームイン後にヘッドスライディングしていた）と二塁打で出塁した一番山崎選手を三塁に置き、二番八坂選手の左翼犠牲フライで2点目を奪う。その裏三友クラブの攻撃は無得点に終わり三・四回と両軍ともに追加点を取り合い9対6でパイレーツに軍配が上がった、両軍ともに6安打ながらパイレーツの長打3本に対し三友クラブ0本と長打力の差で明暗が分かれる形となった。（記事・写真：奈多サンデーズ 田中 俊弘）



三友クラブ先発の足達投手。



パイレーツ1番長倉選手。



パイレーツ四番安田選手の犠牲フライ。



パイレーツ先発の吉田投手。



三友クラブ二番坂本選手の送りバント。



三友クラブ柿崎選手のスライディング。



三友クラブ柿崎選手本塁でタッチアウト。



戦況を見守るパイレーツベンチ。

## 第10週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第10週、6月18日は4試合が行われました。

雁レク7の新町ウインズ対奈多クラブ戦は、奈多クラブは相手エラーで得点すると、二回には九番住田選手がHRを打ち試合を優位に進めると、2点差にされながらも今林祐将選手のタイムリーで引き離し3-7で勝利。奈多クラブ今林瑠生投手からウインズ二番安藤一步樹、三番吉浦、四番桐島選手が意地を見せたが、3度のチャンスに五番藤田選手がブレーキ。一本でも出ていれば違った展開になっていたかも。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対三苦フレンズ戦は、三回裏にフレンズが無安打で先制するうまい攻撃を見せると、四回裏は連打で追加点。六回には長打と犠打を駆使してダメ押し。理想的な試合展開でフレンズが1-5で5連勝。小技が得点に確実に絡むなど今シーズンの好調さが伺える。一方ジャガーズは泥沼の5連敗。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対三苦三球会戦は、単打で10安打した三球会に対し、ブルーマーリンズは内野安打2本に抑えられる。安打数そのまま得点差にもつながった。三球会は吉留、鮎川投手のリレーで完封し、0-9で三球会が勝利。終始壘を賑わせた三球会、最終回の一塁フライWプレーで3人で攻撃を終えたのはご愛嬌か？ブルーマーリンズは昨年奮闘したが、ここまで5連敗。

青松園Aの和白新町パイレーツ対三友クラブ戦は、乱打戦の様相を呈したこの試合は、パイレーツ長倉選手、三友クラブ平田選手の両一番打者が出塁しまくったことが要因の一つに挙げられるが、勝敗を分けたのはその前を打つ九番打者。パイレーツ九番岡山選手がHRを含む2打数2安打1犠飛、3打点を挙げ、いい流れで一番に繋いだところが大きく9-6でパイレーツの勝利。三友クラブは初戦を勝って以来4連敗。

梅雨の真っ盛りに突入し、雨の影響が出てきます。怪我している人、調子が上がらない人はこのチャンスにリカバリーしましょう。